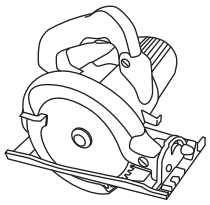
6 施工に必要な工具

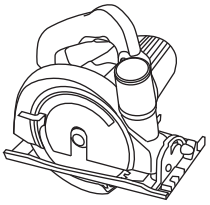
留め具

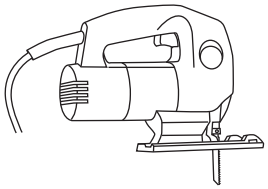
・ドリリングタッピンねじを使用してください。
・留め具の材質はステンレスまたは亜鉛めっきとしてください。
・留め具の長さは防耐火構造認定に従ってください。防耐火構造認定を必要としない場合は下記の表に従ってください。

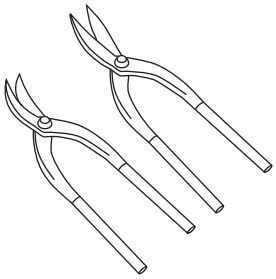
下地	留め具の種類	
鉄骨下地	ドリリングタッピンねじ	φ4×L25㎜以上

切断工具類

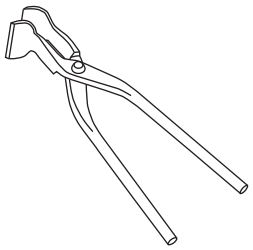

電動丸のこ


防塵丸のこ

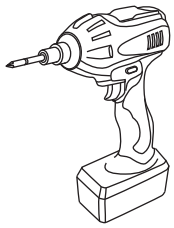

ジグソー

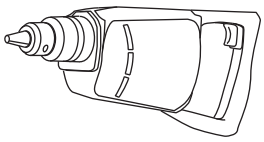

はさみ

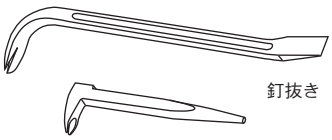
折り曲げ工具類


つかみ

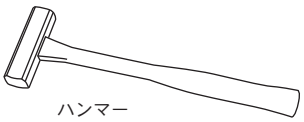
取り付け工具類

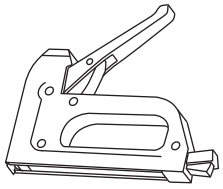

インパクトドライバー

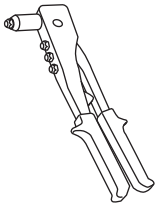

電動ドリル


釘抜き

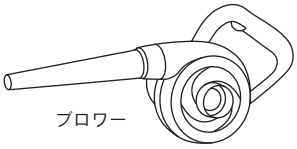
釘しめ


ハンマー

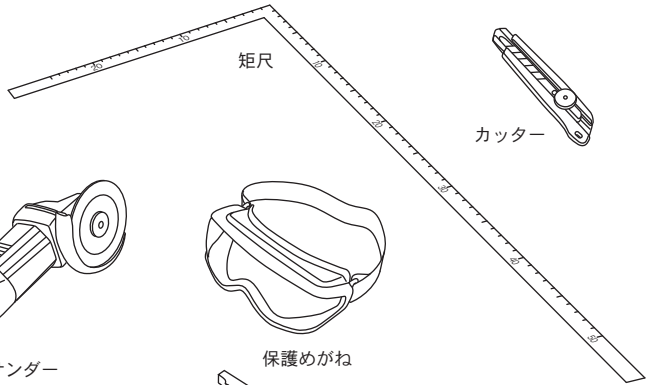

タッカー


リベッター

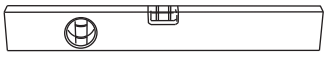
その他の工具類

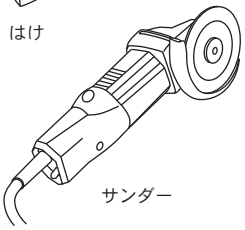

ブロワー

はけ


矩尺

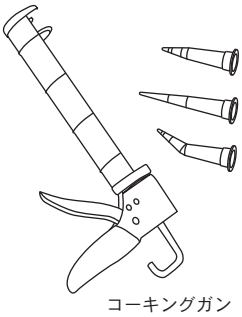
カッター

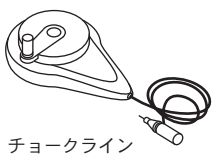

水平器

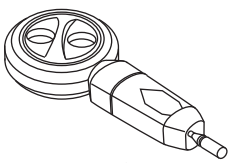

サンダー

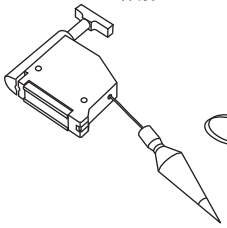
保護めがね

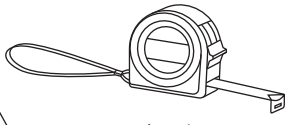
水糸


コーキングガン


チョークライン


墨つぼ（粉）


下げ振り

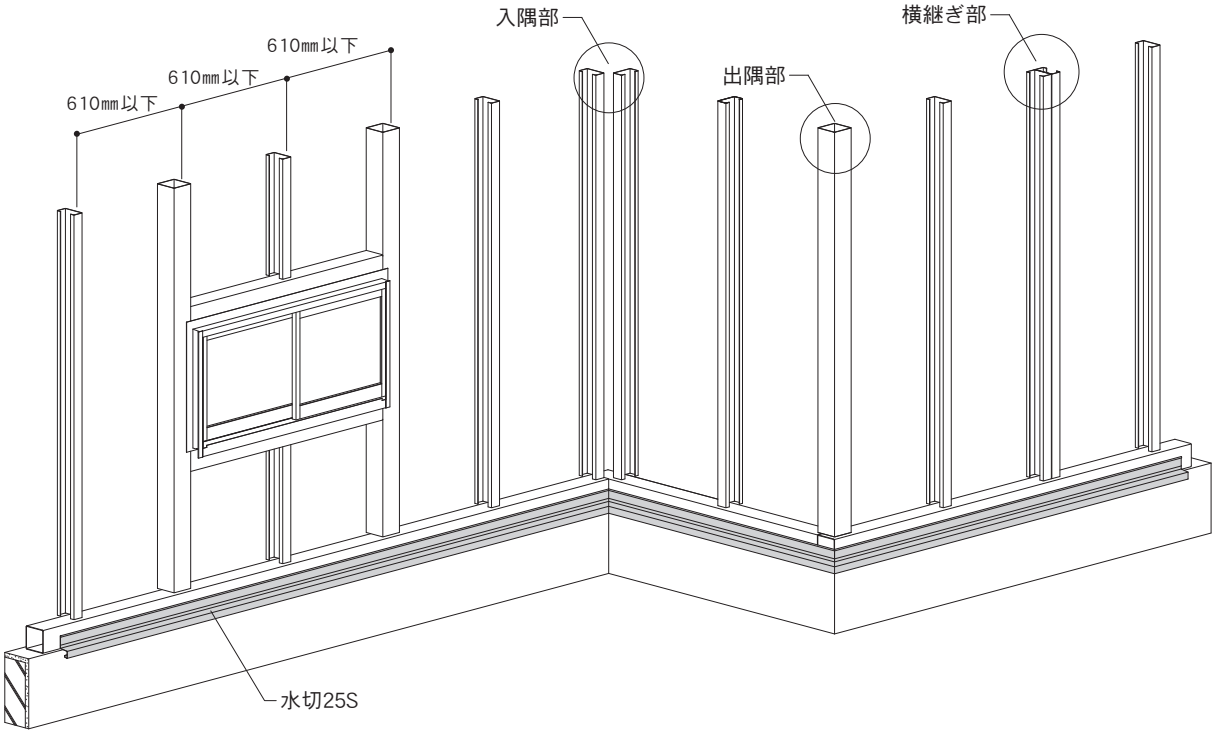

スケール

・調達資材は現場手配となります。
・電源をあらかじめ確保してください。
・ここに記載した以外の工具が必要になることもあります。
・各工具の取り扱いにつきましては、それぞれの取扱説明書に従ってください。

7 施工の手順とポイント

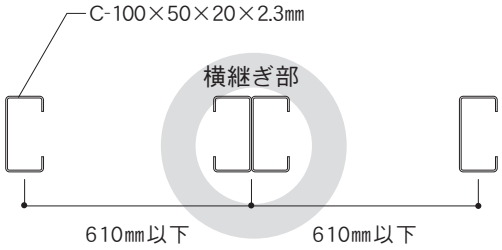
1. 下地の確認 2. 割り付け 3. 水切25Sの施工	4. 墨出し 5. 先付け付属品の施工	6. 本体の施工 7. 捨てシーリングの施工	8. 後付け付属品の施工 9. 仕上げシーリングの施工、補修塗装 10. クリーニング

横張り施工手順

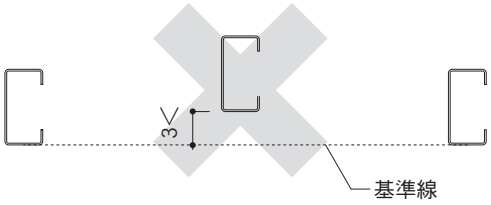


1．下地の確認

●胴縁間隔610㎜以下、C-100×50×20×2.3㎜以上の材料を標準としてください。
横継ぎ部には、C-100×50×20×2.3㎜以上の材料をダブルで取り付けてください。

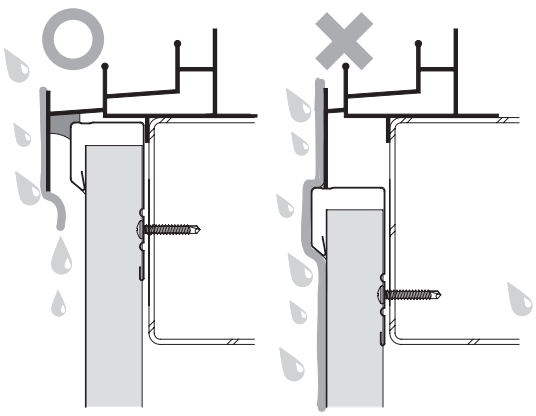


●下地には、不陸がないことを確認してください。
隣り合う胴縁の不陸は3㎜以以内に抑えてください。
また、胴縁同士のつなぎ目の不陸も同様です。



●積雪地域では雪の積もる高さまで、補強胴縁を入れてください。

●サッシは半外付けサッシまたは外付けサッシを使用してください。下枠の出幅が少ないサッシでは、雨だれなどによる汚れが発生しやすくなります。

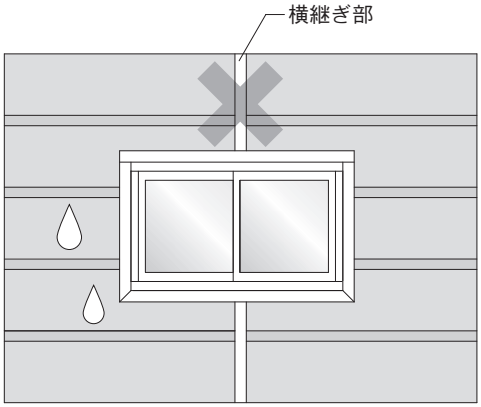


2．割り付け

●本体の横継ぎ部は、開口部の位置、デザイン、材料ロス、作業効率を考慮して決めてください。

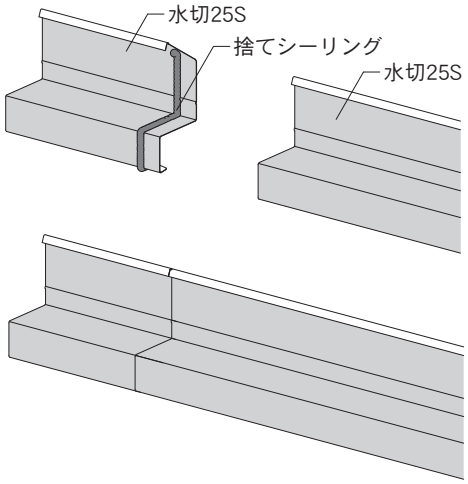
●開口部は雨漏りが発生しやすい箇所です。雨水の集中を避けるため開口部の上下では横継ぎをしないように注意してください。

●サッシは半外付けサッシまたは外付けサッシをご使用ください。下枠の出幅が少ないサッシでは、雨だれなどによる汚れが発生しやすくなります。

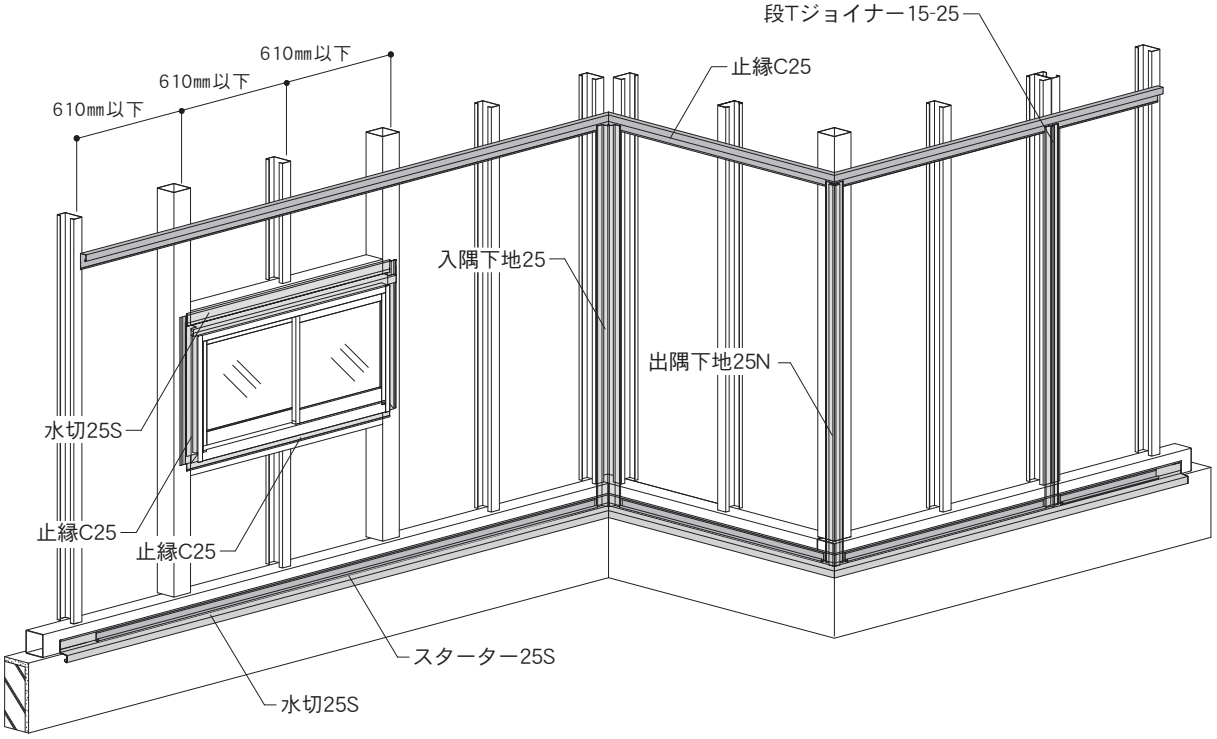


3．水切25Sの施工

●土台部に水切25Sを施工してください。
水切25Sは片側に切り欠き加工がされており、左右の接続が容易に行えます。切断して左右を接続する場合は、同様に切り欠き加工をしてください。
捨てシーリングを施工してから接続してください。
出隅部、入隅部でも、切り欠き加工が必要になります。
P53の「12.付属品の加工方法」を参照してください。



1. 下地の確認 2. 割り付け 3. 水切25Sの施工	**4. 墨出し 5. 先付け付属品の施工**	6. 本体の施工 7. 捨てシーリングの施工	8. 後付け付属品の施工 9. 仕上げシーリングの施工、補修塗装 10. クリーニング



4．墨出し

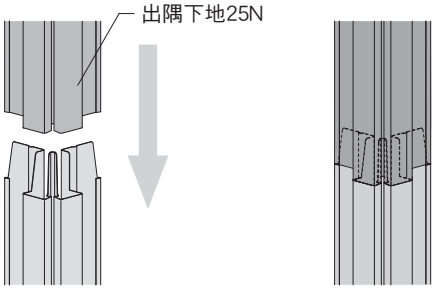
●パネル本体の働き幅に合わせて墨出しを行ってください。

5．先付け付属品の施工

●各部位に付属品を施工してください。
付属品は、先付け付属品→本体→後付け付属品の順序で施工します。先付け付属品と後付け付属品は、組み合わせと数量をご確認の上、施工してください。

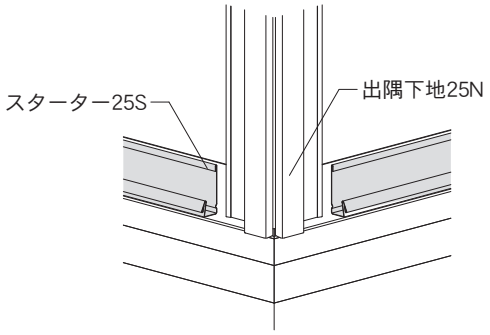
部位	先付け付属品	後付け付属品
出隅	出隅下地25N	出隅キャップ15-25S
入隅	入隅下地25	入隅キャップ15-25S
横継ぎ	段Tジョイナー15-25	段キャップH25WS
	ワンタッチTジョイナー25	ワンタッチHキャップ15-25
軒	止縁C25	−
	止縁捨板25	止縁キャップC25
開口部	水切25S/止縁C25	−
	水切25S/止縁捨板25	止縁キャップC25
下がり壁	下がり壁水切15-25	−
土台 下がり壁	スターター25S	−

●付属品の片側には切り欠き加工がされており、接続が容易に行えます。



●出隅下地25N、入隅下地25、段Tジョイナー15-25を施工してください。

出隅部

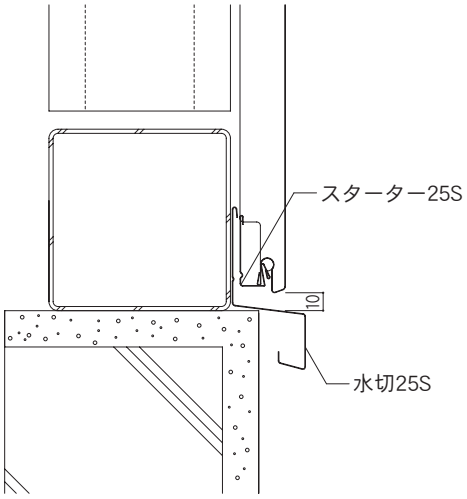


●土台部にスターター25Sを施工してください。下屋見切り部、下がり壁部は、必要に応じてスターター25Sを施工してください。

●スターター25Sは、出隅下地25N、入隅下地25、段Tジョイナー15-25に重ならないように、施工してください。

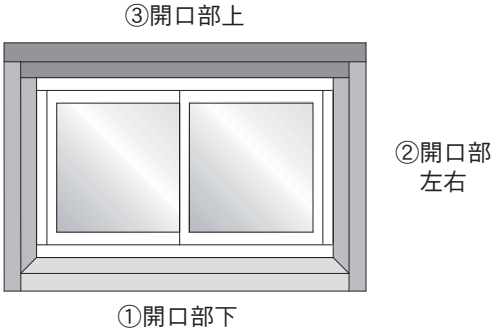
●スターター25Sの施工の際は、本体と水切25Sとのすき間が10㎜程度あくように取り付けてください。

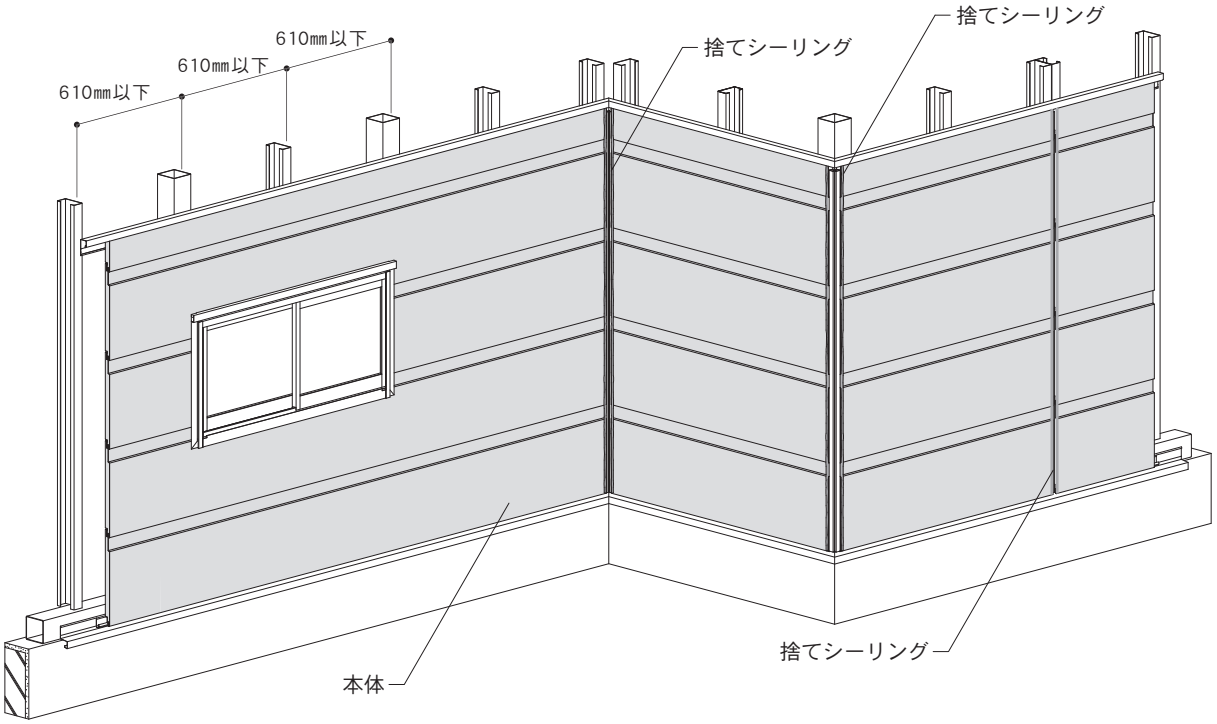
土台部



●開口部の付属品の取り付けは、基本的に①開口部下、②開口部左右、③開口部上の順序で施工してください。

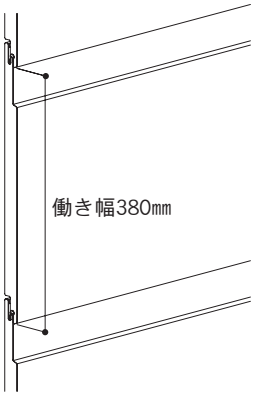
開口部





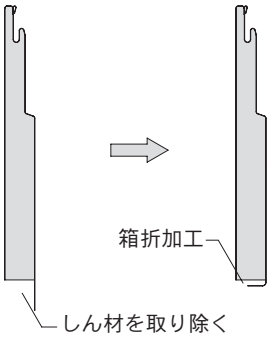
6．本体の施工

●墨出し線に合わせて本体を施工してください。働き幅で施工しない場合、水密性や耐風圧などで十分な性能を発揮できません。
また、目地ずれなどの意匠性の低下につながります。

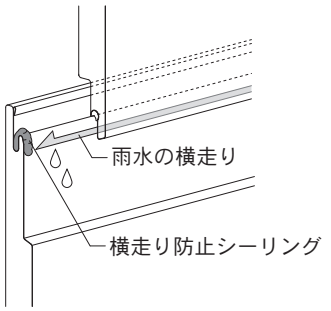


●開口部、下屋見切り部、下がり壁部などで本体を切断して納める際は、箱折加工を施してください。

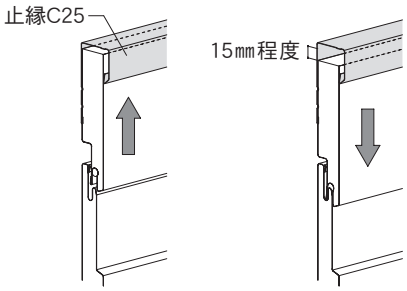
●施工期間中は、笠木などから雨水が入らないよう、養生してください。



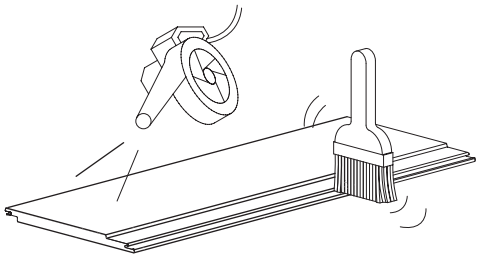
●出隅部、入隅部、横継ぎ部などに本体を施工する際は雨水の横走りを防止するために、1枚ごとに横走り防止シーリングを捨てシーリングと連続する位置に施工してください。



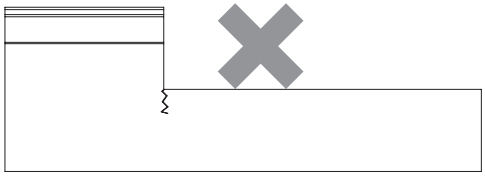
●本体の張り終わりなどで止縁C25に差し込む際は、15㎜程度のはめ込み代が必要となります。採寸時に注意してください。



●切断時に発生するバリ・切り粉はさびの原因になります。必ず除去してください。



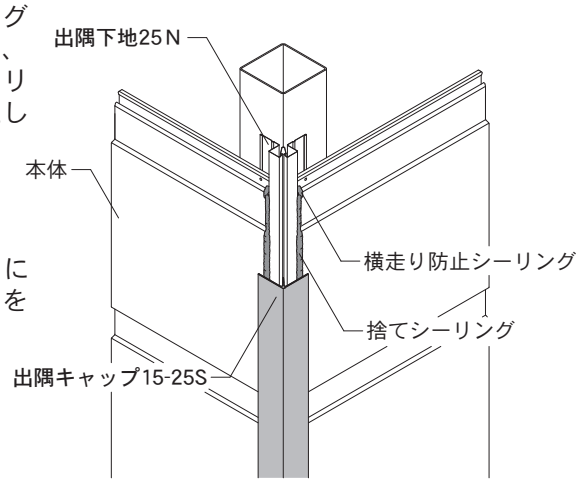
●本体を切り欠く際は、破損しないように注意してください。

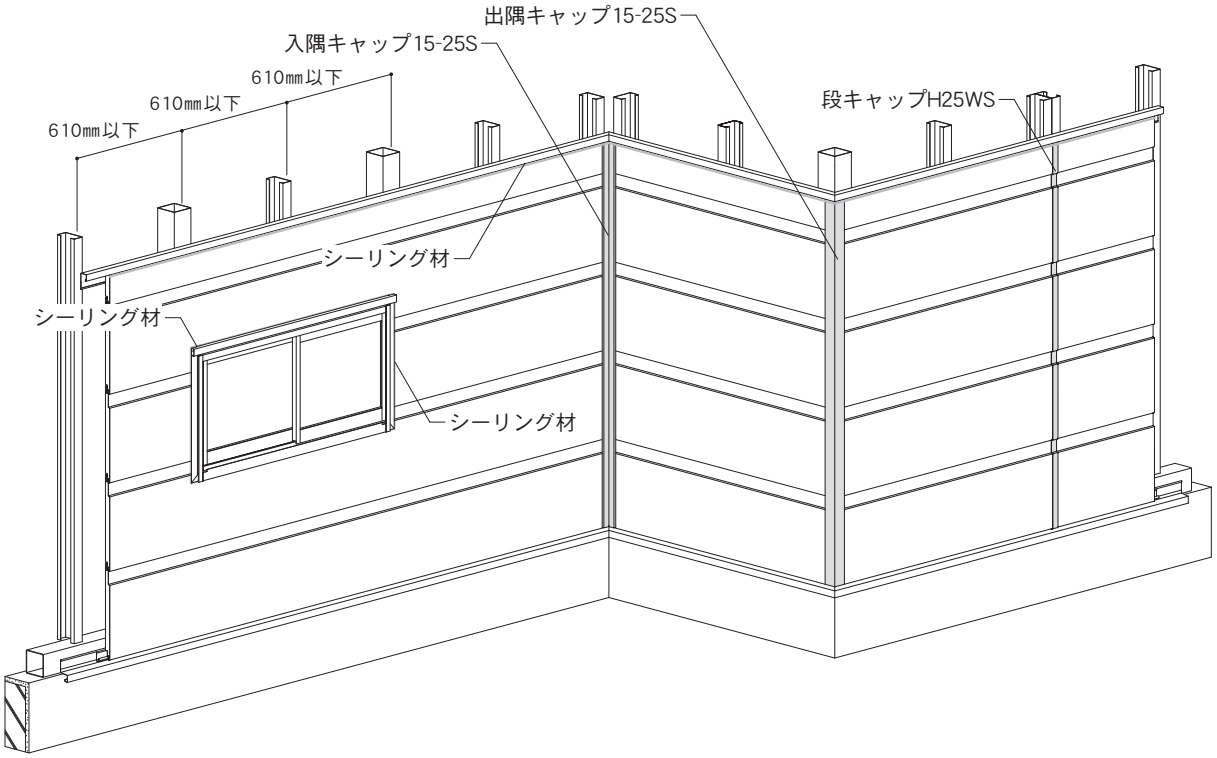


7.捨てシーリングの施工

●後付け付属品を施工する前に出隅部、入隅部、横継ぎ部に捨てシーリングを施工してください。捨てシーリングは、後付け付属品を施工した際にはみ出さないよう、シーリング幅を考慮して施工してください。捨てシーリングは、横走り防止シーリングとつながるように施工してください。

●付属品を使用する箇所で本体同等の水密性を発揮するには、シーリング材を施工する必要があります。納まり図を参照して指定箇所にシーリング材を施工してください。





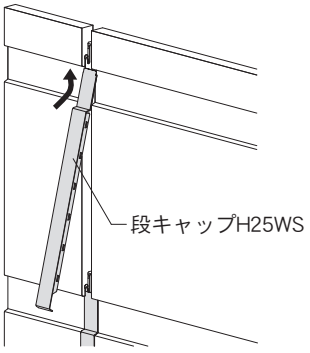
8．後付け付属品の施工

●各部位に後付け付属品を取り付けてください。後付け付属品の片側には切り欠き加工がされており、接続が容易に行えます。

部位	先付け付属品	後付け付属品
出隅	出隅下地25N	出隅キャップ15-25S
入隅	入隅下地25	入隅キャップ15-25S
横継ぎ	段Tジョイナー15-25	段キャップH25WS
	ワンタッチTジョイナー25	ワンタッチHキャップ15-25
軒	止縁C25	―
	止縁捨板25	止縁キャップC25
開口部	水切25S/止縁C25	―
	水切25S/止縁捨板25	止縁キャップC25
下がり壁	下がり壁水切15-25	―
土台 下がり壁	スターター25S	―

●垂直方向に施工する付属品は下から上へ張り上げてください。

●段キャップH25WSは、先端を本体かん合目地に差込み、先付け付属品に取り付けてください。

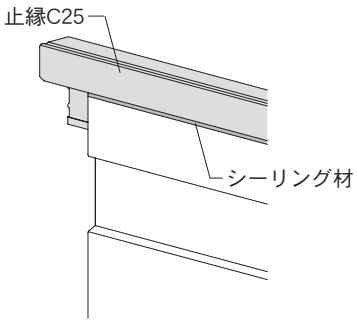


9．仕上げシーリングの施工、補修塗装

●仕上げシーリングは、接着面が乾燥している状態で施工してください。シーリング材の接着面が高温の場合は工事を控えてください。また、水分、油分、ほこりなどにも注意してください。詳細は該当する箇所の納まり図を参照してください。

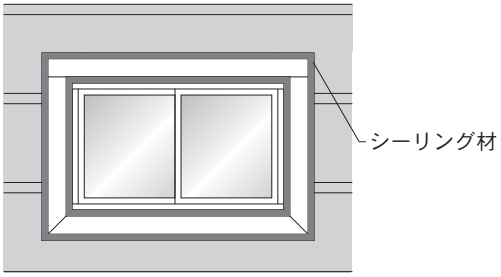
●タッチアップペイントは、使用前によく撹拌してから使用してください。カタカタという音がしてから30秒以上振り、よく撹拌してください。
事前に商品の端材などで試し塗りをして、色調の確認を行ってください。
タッチアップペイントは、常乾タイプの塗料です。商品とは塗料タイプが異なりますので、色や艶などに多少の差異が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。塗料の接着面が高温の場合は工事を控えてください。また、水分、油分、ほこりなどにも注意してください。

軒部



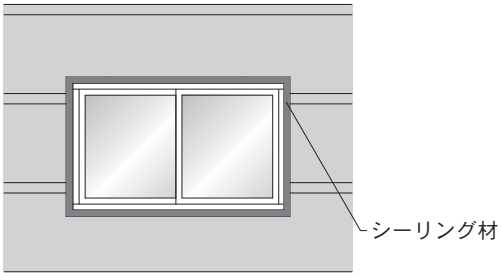
●開口部①：水切25Sと止縁C25を使用する場合
開口部上は、本体に箱折加工を施してください。付属品と本体の間、サッシと付属品の間はシーリング材を施工してください。

開口部①：水切25Sと止縁C25を使用する場合



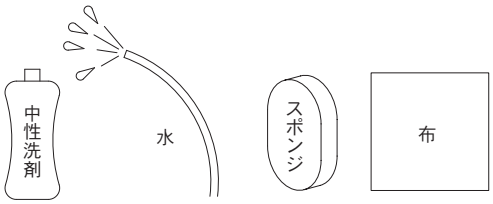
●開口部②：付属品を使用しない場合
開口部上、開口部左右、開口部下は本体に箱折加工を施してください。サッシと本体の間は、シーリング材を施工してください。

開口部②：付属品を使用しない場合



10. クリーニング

●商品表面をクリーニングする場合は、水または中性洗剤（1～2%の水溶液）で洗浄し、中性洗剤を使用した場合は、水でよく洗い流してください。洗浄用具は、やわらかいスポンジや布を使用し、商品表面に傷が付かないように注意してください。



縦張り施工手順

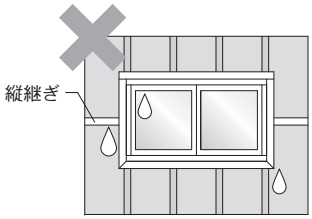
基本的な施工手順は横張りと同様ですが、縦張りの際は以下の手順に留意してください。
（詳細は横張りの施工手順、及び納まり図を参照ください。）

❶下地の確認

・胴縁は横胴縁とし、間隔は610㎜以下、C-100×50×20×2.3㎜以上の材料を標準としてください。
・縦継ぎ部にはC-100×50×20×2.3㎜以上の胴縁をダブルで施工してください。

❷割り付け

・開口部は雨漏りが発生しやすい箇所です。雨水の集中を避けるため開口部左右には縦継ぎ部を配置しないよう注意してください。

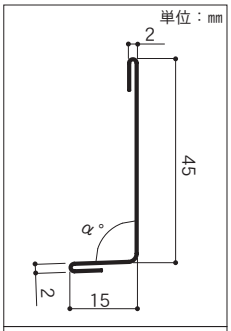


❸水切25Sの施工 → ❹墨出し

❺先付け付属品の施工

・縦継ぎ部の水切25Sと出隅下地25Nや入隅下地25などの先付け付属品との取り合いでは、水切25Sを先に取り付けてください。水切25Sと出隅キャップ15-25Sでは水切25Sの方が出幅が大きいため出隅キャップ15-25Sを通して施工することはできません。

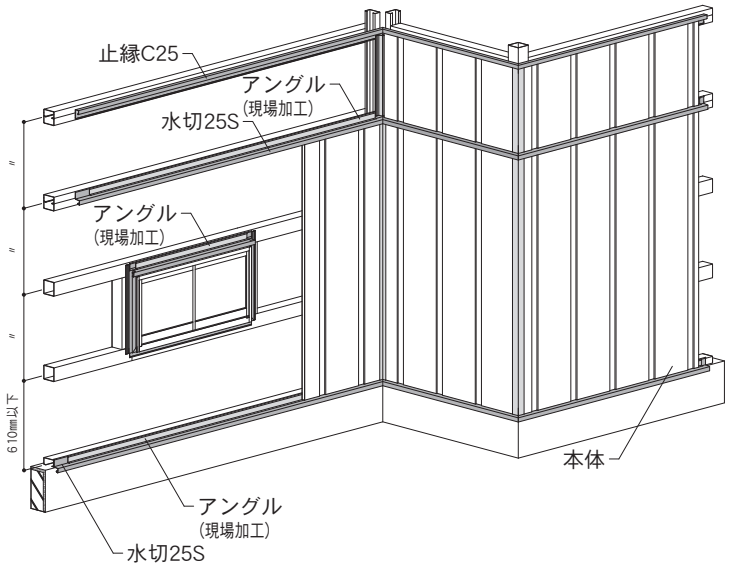
・水切25S、下がり壁水切15-25の指定箇所では、防水のため右の図のアングル（現場加工）を使用してください。α°は水がたまらないように直角以上（92°程度）の角度をつけてください。詳細は、納まり図を参照してください。



アングル （現場加工）

❻本体の施工 → ❼捨てシーリングの施工 → ❽後付け付属品の施工

❾シーリング材の施工、補修塗装 → ❿クリーニング



部位	先付け付属品	後付け付属品
出隅	出隅下地25N	出隅キャップ15-25S
入隅	入隅下地25	入隅キャップ15-25S
縦継ぎ	水切25S/アングル	―
軒	止縁C25	―
	止縁捨板25	止縁キャップC25
開口部	水切25S/止縁C25/アングル	―
	水切25S/止縁捨板25/アングル	止縁キャップC25
下がり壁	下がり壁水切15-25/アングル	―